

今後のふるさと納税返礼品の充実と
寄付額を増やすための対策について



町長 町のPRを軸とした返礼品の拡充に努める



質問 総務省は、6月24日の告示により、返礼品提供事業者への返礼品の付加価値基準における算出方法の明確化や募集費用の透明性を向上させ、制度の適正な運用を促進する方針を打ち出した。「地場産品基準の厳格化」と

正に伴う影響と今後の対策について伺う。

町長 返礼品をさらに充実させるためには、町内事業者の協力が必要不可欠である。町の魅力発信が、この改正の対策が必要であると考えているが、この改正に伴う影響と今後の対策について伺う。

町長 東西自由通路全体をPRの場と捉えた各種啓発活動を実施していく。

防災士資格を取得する費用の補助を

町長 自主防災組織や学校などと連携を取りながら、若い世代の育成や地域防災の向上に取り組んでいく。



町の返礼品の一部（さとふるHPより）

箱根ヶ崎駅コンコースの横断幕の活用を

町長 東西自由通路全体をPRの場と捉えた各種啓発活動を実施していく。

防災士資格を取得する費用の補助を

町長 自主防災組織や学校などと連携を取りながら、若い世代の育成や地域防災の向上に取り組んでいく。

下澤 章夫 議員（自民誠和会）

今後の災害対策を問う



町長 新総合防災情報システムを補完的に運用する



防災訓練での瑞穂町災害対策本部

質問 昨今、鹿児島県トカラ列島周辺の長期にわたる地震やロシアの地震による津波などが発生している。町でも災害対策をさらに充実させるべきと考えるが、次の3点について所見を伺う。

町長 新総合防災情報システム・新物資システムの導入や災害時情報集約支援チームの活用について。

町長 東京都災害情報システムを主に運用し、新総合防災情報システムを補完的に運用していく。新物資システムは、利用環境を整え、防災力強化につなげていく。災害時情報集約支援チームは、地域防災計画改定の中で

町長 避難行動要支援者名簿の作成状況および名簿情報提供後の取扱いについて。

町長 名簿は毎年作成し、自主防災組織、警察署、消防署などに提供し、特に自主防災組織には平時から各地域の対象者の状況確認をお願いしている。

町長 災害時のマイナカードの活用とその利点の周知について。

町長 マイナカードに頼らずに運用できる被災者生活再建支援システムを導入している。

質問 ペット防災手帳は、災害時にペットと飼い主が安全に避難するための情報をまとめた便利なツールである。手帳にはペットの健康状態、ワクチン履歴、

香取 幸子 議員（自民誠和会）

ペット防災手帳の作成と配布を



町長 新規作成は考えていない



緊急連絡先などを記載する。導入することで、ペットと飼い主が安全に避難し、被災後も安心して生活ができるようになる。日常の備えや災害時の対応などに加えて、ペットのプロフィールを記載することでペットの手帳にもなる。町でも作成と配布をすべきと考えるが、所見を伺う。

町長 手帳の実際の携行率、記入・更新率が飼い主の意識に左右されやすく、手帳作成の費用対効果の面から見ると、実効性が見えにくい課題がある。

また、防災に関する情報をホームページに掲載しており、ペット防災手帳と同様の機能を果たすものと考えていることから、ペット防災手帳の新規作成は考えていない。現在配布している「愛犬健康手帳」やホームページを活用し、飼い主の自助であることの認識やペット同行避難への住民理解が浸透するよう、必要な情報の提供・周知に取り組んでいく。



日野市のペット防災手帳

古宮 郁夫 議員（自民誠和会）

孤独死・孤立死について



町長 分野横断的な複合支援が求められている

質問 内閣府は、孤立した状態で亡くなった（死後8日以上経過して発見）とみられる人数を初めて推計し公表した。2024年において、2万1,856人で、男性1万7,364人・女性4,466人・不詳26人である。同年4月施行の孤独・孤立対策推進法では、孤独や孤立を「社会全体の課題」と位置づけている。多死社会の到来、未婚率の上昇と高齢者の単独化など、さまざまな社会問題が混在する中、町の取り組みを問う。

町長 人口減少が進む中で、孤独・孤立などの複雑、多様化する地域生活課題の解決には、一つの分野・領域のみでの対応ではなく、分野横断的な複合支援が求められている。また、地域においても、従来のような支え手側と受け手側に分かれるのではなく、緩やかな見守りや声掛けなど、地域のあらゆる住民が役割を持つ「ケアリングコミュニティ」の構築が不可欠となっている。引き続き、孤独・孤立への対策、防止に当たっていく。



孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画

ケアリングコミュニティ…あらゆる住民が地域の中で社会参加し、相互関係をつくり、自己実現に留まらず共生できる地域社会。